

# 2017年度神学講座～夏期集中講座～



上智大学大阪サテライトキャンパス

上智大学神学講座～夏期集中講座～を8月7日より5日間、大阪サテライトキャンパスで開講いたします。  
当講座は社会のただ中であって信仰の深化を望む全てのキリスト者に有意義な生涯学習の場を提供することを目的としています。  
また教職にある方には宗教科の免許状を取得することができるように、文部科学省から免許法認定公開講座としての許可を受けています。

## 第1講義

日時：8月7日（月）～8月11日（金）9:15～11:45 聴講料：10,000円（5日間）

「キリスト論」（教理学・哲学）

講師：角田 佑一（上智大学常勤嘱託講師）

## 第2講義

日時：8月7日（月）～8月11日（金）13:00～15:30 聴講料：10,000円（5日間）

「宗教科教育法17-3」（教科の指導法）

講師：松村 繁彦

（カトリック大阪大司教区 教区事務局長・香里教会主任司祭）

## 第3講義

日時：8月7日（月）～8月11日（金）16:00～18:30 聴講料：10,000円（5日間）

「マリア論」（教理学・哲学）

講師：光延 一郎（上智大学神学部教授）

東京会場から中継

●登録料：今年度初めて神学講座を受講する方は講座料に別途登録料(3,000円)が必要です。

登録は一度すれば次年度以降も有効です。以前に神学講座(夜間・集中)において手続き済みの方は必要ありません。

●単位修得履修料：初めて単位聴講手続きをされる場合のみ、登録料と単位修得履修料(7,000円)の納入が必要となります。  
単位聴講手続きは一度すれば次年度以降も有効です。

必要事項をご記入のうえ郵送またはFAXにてお送りください。申込用紙をお送りいたします。講義概要は裏面をご参照ください。

フリガナ お名前 【必須】	性別 男・女
ご住所 〒 【必須】	
電話番号・携帯番号 【必須 緊急時ご連絡がしやすい番号をご記入ください】	

## 上智大学大阪サテライトキャンパス

〒531-0072 大阪市北区豊崎3丁目12番8号

サクラファミリア（カトリック大阪梅田教会）2階

FAX: 06-6450-8742

<http://www.sophia-osaka.jp/>

上智大学 大阪 検索

アクセス：地下鉄御堂筋線「中津駅」3番出口より徒歩3分

阪急「梅田駅」茶屋町口より徒歩4分

JR「大阪駅」御堂筋北口より徒歩10分

<http://www.sophia-osaka.jp/> 電話：06-6450-8741 開室時間：平日 10:00～18:00



### 第1講義

日時：8月7日（月）～8月11日（金）9:15～11:45 聴講料：10,000円（5日間）

「キリスト論」（教理学・哲学）

講師：角田 佑一（上智大学常勤嘱託講師）

この集中講義では、まず前半に史的イエスの探求を行う。新約諸文書にはさまざまなイエス像が示されているが、それらを分析、統合することをとおして、歴史上の人物であるイエスのメッセージと生き方に迫る。とりわけ、イエスの死と復活とは一体何を意味するのか。なぜキリスト教の信仰において、中心的な意義を持つに至ったのかを探る。

集中講義の後半には、キリスト論の探求を行う。イエス・キリストとは一体何であり、誰なのかという問いに対して、さまざまなキリスト論が教会において現れた。そのなかで、古代の教父と公会議（ニケア公会議から第3コンスタンティノーブル公会議まで）におけるキリスト論論争のプロセスをたどりながら、教会がイエス・キリストをどのように理解するようになつたのかを探ってみたい。

### 第2講義

日時：8月7日（月）～8月11日（金）13:00～15:30 聴講料：10,000円（5日間）

「宗教科教育法17-3」（教科の指導法）

講師：松村 繁彦

（カトリック大阪大司教区 教区事務局長・香里教会主任司祭）

宗教を教えるにあたって、これという正解の教科書はない。そのため根拠は聖典にならざるを得ない。特にキリスト教は聖書抜きには考えられない。しかし、全ての者が聖書に精通しているわけではない。授業を受ける生徒にとっても聖書はむずかしく感じるだろう。そこで、いかに噛み砕き、イエスのメッセージを伝えるかが宗教を教える者としての手腕にかかるし、センスが問われる。

この宗教科教育法では主に①聖書そのものをどのように総合的にとらえるか。②聖書から何をどこまでくみ取るか。③どのような教材を使って表現するか。これらに力点を置きながら、キリスト教教育のための教師として現場で実際必要な事柄にも目を向けていきたい。また宗教科教育と宗教教育の違いにも気を付けながら、宗教科の教員の働きに求められる宗教行事や学校行事にも触れていきたい。前半は宗教科教員に対する概論や聖書に触れ、後半は実際に短い模擬授業をしながら、更によくなるための意見交換を行っていきたい。

### 第3講義

日時：8月7日（月）～8月11日（金）16:00～18:00 聴講料：10,000円（5日間）

東京会場から中継

「マリア論」（教理学・哲学）

講師：光延 一郎（上智大学神学部教授）

聖母マリアについての神学と霊性の展開。マリア論は、カトリック神学において、キリスト論・神学的人間論・教会論・秘跡論など教義神学諸科目が交差する交差点に位置している。しかしながら「無原罪」・「被昇天」・「処女懐胎」など、教義の名称が、現代人の常識と大きく隔たり、マリア崇敬の意味と価値が理解しがたくなっている。そこからこのコースでは、聖母マリアについての誤解を解き、その教義や信心がキリスト教信仰に対してもつ、本来の味わいを取り戻すことを目標にしつつ、マリアについての神学と霊性の全貌をその歴史とカール・ラーナーの神学から研究したい。

聖書におけるマリア、「神の母」、「処女懐胎」と「終生の処女性」、「無原罪の御宿り」と「聖母の被昇天」教義について、エキュメニズムにおけるマリア、第二ヴァティカン公会議とマリア。

## 夏期集中神学講座

夏休みを利用して勉強をしようと志す人々のために設けられた講座です。

毎年7月下旬から8月中旬の間に計15日間にわたって開講します。

興味のある科目を選んで聴講することはもちろん、3年続けて全課程を聴講すれば、神学の基礎的な知識を一通り修得できるように企画されています。

上智大学四谷キャンパス開講の講座もございます。詳しくは本学ホームページをご参照ください。

<http://www.sophia.ac.jp/>

上智大学 神学講座

検索